



第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリーカラブ週報

会長：池永 隆司 / 副会長：八重野 一洋 / 幹事：宮崎 正典

2020～2021年度クラブスローガン

『和衷協同』

地域のために。そして未来のために。

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：吉野英樹、山口裕之、福田英彦、鶴田明敏
西村浩輝、古川直記、岡田文俊、崎山信幸本日の出席率 73.33%：会員数 49名・出席 26名・欠席 12名・出席規定免除会員 7名・ビジター 0名
出席 31名・出席規定免除会員 9名

会長挨拶 / 池永 隆司君



皆さん、こんばんは。
佐世保では、先週から新型コロナウイルス感染が、飲食店でのクラスターを始め、一日20名の感染という日もあり急増しております。そして佐世保市の指標も、不要不急の外出を控えるフェーズ4に上がっておりります。そういう中、今日の例会を休会するか、開催するか考えましたが、夜の例会ではありますが、弁当の持ち帰りで飲食を伴わず、会議だけでこれまで通り感染対策をしっかりとっての開催と致しました。

今年度は、新型コロナウイルスに始まり、コロナウイルスで終わろうとしています。

例会の開催、対内・対外事業の実施、そして委員会などまい進できないこともございましたが、ウイズコロナで皆様のご協力の下、何とか一年乗り切れたのではないかと思います。そして、我がクラブもワクチン接種対象の65歳以上の方が、21名いらっしゃり、第一回目の接種を終わられた方もいます。これから、国民皆さんのが接種が進んでいけば、昔の日常に戻れるのではないかと思いますので、それまでもう少しの辛抱だと思います。

最後に本日のクラブ協議会は、理事・役員の方々の一年を振り返ってとなっておりますので宜しくお願ひします。



ニコニコボックス

池永 隆司会長・八重野 一洋副会長・宮崎 正典幹事

ここ数日、まるで真夏のような暑い日が続いています。そのせいか、熱中症のニュースが増えってきたような気がします。意外にも自宅などで熱中症になる方が多いそうです。エアコンや扇風機などを使用し過度な水分や塩分の補給には気を付けていきたいと思います。明日から梅雨空に戻ってしまいそうな天気予報ですから、少しは暑さもひと休みになってくれるといいですね。本日のクラブ協議会は、各委員長の皆さんによる発表となっております。30周年のこの1年間を振り返っていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

池永 隆司君

ラスト1回の例会です。ニコニコしまくります。

馬場 貴博君

第16回の30周年実行委員会が無事終わりました。残りあと2回で終了の予定です。

宮崎 正典君

検査の結果、皆様のご期待に反して陰性だったことを報告します。それと、ゴルフの景品で井上実行委員長からの寸志が当たりましたのでニコニコします。

筒井 琢磨君

結婚祝いのお花ありがとうございます。



幹事報告 / 宮崎 正典君

1. 来信

■佐世保南・東ロータリーカラブ

- ・第2回第3回 会長・幹事会 開催のご案内
7月30日（金）18:00～
セントラルホテル佐世保

本日の合計	20,000円
本年度の累計	728,000円



本日の卓話

◆第9回クラブ協議会◆ 各委員会報告

SAA 馬場貴博委員長

コロナに始まり、コロナで終わった1年間でした。この例会場からコロナを出さないという事で、イレギュラーな1年でした。副SAAの崎山会員、田代会員、今年度一杯で退会された浅野会員、そして、来年度の幹事の田添君本当にありがとうございました。



クラブ管理運営委員会

前田 真澄 委員長

コロナに始まり、コロナで終わった1年間でした。特に親睦系の委員会を担当させて頂き、会長・副会長・幹事交代式では、クラブで一番目の事業であり、行うか行わないかで非常に悩みはしましたがやれる形でやれる内容で行ったことが結果としてよかったです。皆様のご協力で無事に終わる事が出来、感謝申し上げます。



クラブビジョン委員会

本田 実 委員長

本年度の目的であった新入会委員に対して新入会セミナーを開催いたしました。

コロナ感染防止のため広いホテルの会場を貸し切り、パスト会長の橋口佳周、牛島義亮、田舎豪裕、3名の方々にロータリー財団、米山奨学、クラブの歴史、周年事業の事に関して卓話を頂きました。9名の新入社員（入会3年未満、新入会セミナー未受講者3名）にとって佐世保中央ロータリークラブには歴史があり、色々な事業を行いながら楽しいクラブであることを分かってもらえたと思います。

ロータリー情報においては委員長および委員が勉強をし、例会において会員にお知らせが出来ました。コロナの影響で委員会開催もままならず、委員会活動も思うように行えませんでしたがメンバーのご協力に感謝いたします。



親睦例会活動委員会

片桐 康利 委員長

一年間皆様のご協力のもと事業が開催でき、感謝申し上げます。最後に委員会メンバーの皆様に感謝申し上げお礼の言葉とさせていただきます。



式典例会・出席委員会

倉科 聰一郎 委員長

当委員会は、会長・副会長・幹事交代式、新年例会、30周年記念式典のサポート、通年の出席報告を担当させて頂きました。新年例会、30周年式典は中止となっていましたが、会長・副会長・幹事交代式を行えたことはよかったです。通年で例会の出席報告をしっかりと行えたと思います。一年間ありがとうございました。



公共イメージ・会報委員会

吉野 英樹 委員長

各例会や事業での公共イメージの増進に努めてまいりました。社会情勢により例会の中止や事業の縮小もありましたが、1年間の活動により佐世保中央RCのイメージもほんの少し上がったのかと思います。また委員会メンバーの皆さんには写真やビデオ原稿などに尽力いただきありがとうございました。特に例会フル出場の西村さんには全ての場面でビデオを担当していただきました。改めてお礼申し上げます。また事務局も原稿の遅れなどもあり、大変だったと思います。ありがとうございました。



会員増強委員会

井手 陽一 委員長

今年度は稻次さん、橋口輝宗さん、福田力さんお3名のご入会をいただきました。3名の方の入会にあたり、ご尽力いただいた会員の方には心より感謝申し上げます。今年に入ってからは、コロナの影響が確実に入会へのバリアになったように思いますが、一応つばはつけていますので、当人が入会するまでは責任もって勧誘していきたいと思います。会員の方々には情報をいただきましてありがとうございました。次年度筒井委員長に確実に引継ぎをしてまいります。1年間ありがとうございました。



職業奉仕委員会

大久保 厚司 委員長

10月に職場訪問として針尾無線塔の開園式にヘルメット寄贈を行い、11月はCov.19の卓話を进行了。新型コロナは少しづつ強力なものに変化しています。皆さん気を付けてください。また、ご協力いただきました、委員会の皆様と感染をうまくすり抜け例会を行ってきた池永会長をはじめ役員の皆様、お疲れ様でした。



社会奉仕委員会**岡 光正 委員長**

当委員会は、本年度の活動指針として、青少年奉仕委員会と連携し、創立30周年のメインとなる「対外事業」。地区補助金を活用した新たな「交流事業」の実施を掲げ一年間活動致しました。



創立30周年の対外事業の実施については、国指定重要文化財「針尾送信所」施設に、10月1日に現地にて贈呈式を行い、見学者用ヘルメット50個を寄贈致しました。贈呈式には、佐世保市教育長を始め関係各所の方にご参加頂き、創立30周年のメインとなる価値ある対外事業ができたと思います。また、贈呈式の内容がTV・新聞等のメディアに報じられ、活動の意義を佐世保市民に理解して頂くと共にPRの場にもなったと思います。

地区補助金を活用した新たな「交流事業」としては、10月23日～25日の2泊3日で「農業と畜産」を通して、環境保全とビジネスチャンスを掴むという目的で、北海道旭川近郊で実施しました。「コロナ過」での実施には、大変なリスクもありましたが感染対策を厳しく遂行させた結果もあり、参加者全員が元気で感染者を出す事なく実施できた事を報告致します。この事業も創立30周年記念事業の一つとして実施し、掲げていた「交流事業」の大きな目標は達成できました。これも偏に、旭川空港ロータリークラブの久保会長を始め、会員の皆様方のご協力によるものです。今後の展開として、「友好クラブ」の締結を視野に入れ、会長・幹事と共に準備を進めているところです。来年度中には、締結を行い継続性のある交流事業に発展させたいと思います。

最後に、「コロナ過」での実施には大変リスクもありましたが、当委員会が掲げた大きな事業が、皆様方のお陰で無事に終えることができました。ご協力に感謝申し上げます。

青少年奉仕委員会**馬渡 圭一 委員長**

本年度は市民交流会と花見交流会を事業として予定してまいりました。コロナの影響で色々と大変な場面もありましたが、委員の皆様と会員の皆様のおかげで、無事に双方の事業を実行する事ができました。一年間ご協力ありがとうございました。

**国際奉仕委員会****宮崎 宗長 委員長**

本年度2委員会を統括する委員長として、期待に添える活動が十分にできなかったのが悔やまれます。

国際交流事業については、30周年となる記念すべき本年度においても、新型コロナ



ウイルスの影響が収まらず、予定していた釜山蓮山ロータリークラブとの相互の交流をはじめ、本来の委員会活動ができませんでした。

ロータリー財団・米山記念奨学会委員会事業については、「佐世保中央ロータリークラブ基金会」を2回開催し、創立30周年を迎えた記念すべき年度として、「ポールハリスフェロー」並びに「米山功労者」を例年以上にノミネートし、それぞれ寄付を実施しました。また、創立30周年実行委員会からも周年事業として米山記念奨学会へ寄付を実施したところです。

「会員への啓蒙活動」については、「創立記念例会」及び「新入会員セミナー」の時間を活用して、「ロータリー財団」「米山記念奨学会」及び「佐世保中央ロータリークラブ基金会」について卓話を実施しました。ロータリー財団・米山記念奨学会委員会の活動においては、一定の成果は出すことができました。

国際交流委員会**筒井 琢磨 委員長**

国際姉妹クラブの釜山蓮山ロータリークラブの来訪そして当クラブの釜山訪問を計画しておりましたが、世界的なコロナウイルス感染症の蔓延によりこれらの交流事業を開催することができませんでした。



30周年記念式典にお越し頂いて、おもてなしすることができなかつたことは大変残念に思っております。コロナ禍で国際交流できる機会はかなり限られましたが、例会のクラブフォーラムにおいて釜山出身の文任順様をお呼びして韓国の文化や現状などをお話しいただきました。本年度は韓国を訪問することができませんでしたが、少しでも国際交流の一助になることができたのであれば幸いです。

これといった活動を行うことはできませんでしたが皆様のご協力に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

ロータリー財団米山奨学会委員会**橋口 佳周 委員長**

今年度の活動計画は

1. ロータリー財団への寄付
2. 米山記念奨学会への寄付
3. ロータリー財団・米山記念奨学会への理解を深める



以上の3項目でした。

寄付活動は、佐世保中央ロータリー基金会と連携し、ポールハリスフェロー2人、米山功労者5人での寄付をいたしました。

また、今年度は、日本の最初のロータリークラブができて100周年の記念の年、当クラブが創立30周年の節目の年もありますので、日本のロータリーの生みの親の米山梅吉氏を記念して作られた米山記念奨学会へ、を創立30周年記念として30万円を寄付しました。

また、当クラブの新入会員セミナーにて、R財団・

米山記念奨学会について新入会員の方の理解を深めて
もらう為に講義をいたしました。

memo

SAA：馬場 貴博君
次回例会/6月17日12:30～



（This section contains 15 blank horizontal lines for writing notes. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page area below the memo box.)